



# 神納中だより

神納中学校第92号

平成22年11月25日発行

向寒の候、保護者並びに地域の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと拝察いたします。日ごろから当校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、例年のない熊の出没件数と11月初旬の不審者情報などで、学校では生徒の登下校時の安全・安心について神経をぴりぴりとさせなければならぬ状況が続きました。幸いにも一件の事件・事故もなく、現在に至るまで生徒は落ち着いた学校生活をおくっております。

その間にも、私たち教師が知らないところで苦しんだり、悩んだりしている生徒はいないか、いじめられたり、悲しんだりしている生徒はいないか、ということに常に気遣っています。生徒の行動で「あれ?」「おや?」と思うようなことは教師間で何でも話し合っ、一人一人の生徒が安心して生活できる環境を維持していこうと努力しています。

家庭や地域の皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 各 種 表 彰

《新潟県教書大会》	金賞	磯部	さん	大倉	さん				
	銀賞	小田	さん	近	さん	佐藤	さん	大倉	さん
		佐藤	さん	木村	さん	鈴木	さん		
	銅賞	佐藤	さん	山崎	さん	鈴木	さん	鈴木	さん
佐藤		さん	本間	さん					
《新大全国教書大会》	準特選	木村	さん						
	秀作	近	さん	磯部	さん	鈴木	さん	山崎	さん
		佐藤	さん						
	佳作	大倉	さん	佐藤	さん	本間	さん	吉村	さん
大倉		さん	佐藤	さん	佐藤	さん			
《荒川オープン卓球大会》									
	男子団体	3位		男子個人	三科	さん	3位		
	女子団体	3位							
《県駅伝大会》	男子チーム	36位							
《村上市岩船郡中学校バレーボール大会》				1位					
《郡市バスケットボールカーニバル》				1位					

## 生徒会主催 「いじめゼロ運動」(10月)

今年度の生徒会スローガン「Lets' do our best!!」サンキュー飛び交う 神中づくり～全校生徒が居心地の良い神中～」を達成するための重点項目の一つとして、「いじめのない神中づくり」という目標をあげました。その活動を「いじめゼロ運動」と名付けようと思っています。

その一環として、今回は「いじめゼロ標語大会」を実施しました。

文化祭当日、次の生徒たちの標語が優秀作品として表彰されました。おめでとうございます。

- |          |               |    |    |    |
|----------|---------------|----|----|----|
| ・いじめゼロ   | 学校じゅうが笑顔だね    | 1年 | 本間 | さん |
| ・見てるだけ   | 聞いているだけでも 共犯者 | 3年 | 須貝 | さん |
| ・自分から    | 手と手をとって 広がる輪  | 3年 | 大滝 | さん |
| ・やめようよ   | いじめはただの 自己満足  | 2年 | 内山 | さん |
| ・やめようよ   | 悪口1つも いじめだよ   | 1年 | 横山 | さん |
| ・「やめなよ」と | 勇気を出して 言ってみて  | 1年 | 佐藤 | さん |
| ・悲しみと    | 共になくそう いじめの連鎖 | 2年 | 竹内 | さん |

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| ・いじめなし みんなの心も 不安なし | 1年 大倉 さん |
| ・大丈夫 君は絶対 一人じゃない   | 1年 細野 さん |
| ・思いやり 優しい心で 接しよう   | 2年 木村 さん |

By : 生徒会顧問 五十嵐 雅人

小・中連携（神納小学校の音楽朝会に吹奏楽部参加 10月18日）

10月18日（月）、この日、当校の吹奏楽部は神納小学校の音楽朝会に参加し、これまで吹奏楽コンクールや文化祭で演奏してきた曲目の数々を、全校児童100名の前で披露させていただきました。

この演奏会は、佐藤耕太郎校長先生をはじめとする同校の先生方のご要望により、5年前から毎年この時期に行われています。一つ一つの演奏に真剣に聞き入る全校児童のすばらしい鑑賞態度に当校吹奏楽部員の演奏にも熱が入りました。



A L Tによるイングリッシュコーナー 毎週金曜日 昼食時間の放送で

当校では毎週金曜日、昼食時間の校内放送でイングリッシュコーナーを全校に向けて放送しています。D JはもちろんA L Tのジェニファー先生ですが、時々、生徒や先生方も参加しています。

英語にかかわる楽しいお話しや日米の文化の違い、アメリカの中学生や高校生に人気のある音楽やゲームなど、いつでも話題は豊富にあります。

アメリカの出来事が瞬時のうちに日本に伝わり、私たち日本人の生活にも大きな影響を及ぼす時代、「地球の村落化」ということばが使われてから久しいですが、私たちは常に足もとを確かにして、海外の情勢にも目を向けていく必要があります。イングリッシュコーナーを通して、そんな体験が楽しくできればよいですね。

今回の学校日よりでは、その一部を紹介いたします。

**A L T : Hello, everyone. How are you? Today I'd like to introduce American music which many American boys and girls like these days. By the way do you like music?**

(訳：皆さんこんにちは、お元気ですか。今日はアメリカの若者たちの間で人気のある音楽を紹介しましょう。ところで、あなたは音楽が好き？)

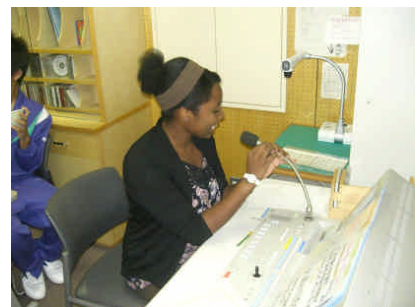
**生徒： Yes, I do. I like music very much.**

(訳：はい、音楽は大好きですよ)

**A L T : OK, what kind of music do you like?**

(訳：そうなの。どんな曲が好きなの。)

**生徒： Japanese pop music.**



(訳：J ポップが好きです)

**A L T : Oh, me, too. How do you like ARASHI?**

(訳：私も好きです。あなたは「嵐」をどう思いますか)

**生徒： They are super great.**

(訳：かっこいいですね)

**A L T : Yes, they really are!**

(訳：本当にそうね)

\*このようにイングリッシュコーナーは、原則、すべて英語で行っています。

\*\*\*\*\*

## 神中生徒に命を救われた猫・・・おむすび (11月1日)

\*\*\*\*\*

10月16日(土)、当校の文化祭の前日の出来事です。1年生の男子生徒K君が友だちの家に自転車に乗って遊びに行く途中、道路中央付近にうずくまっている子猫を発見しました。その子猫はまだ生まれて間もない様子で白と黒のぶち模様のかわいらしい姿をしていました。ところが、悲惨なことに自動車にひかれて大けがを負っていることが分かったのです。



かわいそうに思ったK君は、すぐに自転車を止め、子猫を抱き上げて道路脇に避難させました。しかし、どうしたらよいのでしょうか。子猫は瀕死の重傷です。自分一人ではどうすることもできません。K君は、その道路を走ってくる自動車のドライバーに助けを求めることにしました。まもなく1台の車がやってきました。K君が手を振ってドライバーに合図を送るとその車はちゃんと止まってくれました。

それは偶然にも神納中学校の村上清人先生だったのです。「どうしたんだ」という先生の問いかけにK君は、友だちのうちへ行く途中、車にひかれた子猫を見つけたこと、なんとか助けてやりたいこと、でも自分ではどうすることもできないことなどを村上先生に告げました。その話を聞いた先生は「よし、分かった。とりあえず私があずかって学校に連れて行こう」と言ってK君を安心させ、学校に子猫を連れてきました。

傷ついた子猫はダンボールの箱の中ではありませんでしたが、手厚く看護されて学校で一夜を過ごしました。かなりの重症だったので命があるかどうか心配でした。翌朝、村上先生が安否確認をすると、子猫はしっかりと起き上がり、ダンボール箱をのぞき込んだ先生の顔をしっかりと見つめていたのです。そこには「生きようという堅い意志」を感じることができたそうです。

職員朝会前の打ち合わせ会で、長谷川教頭先生からその件について報告を受けた私は、職員朝会后、早速、子猫の様子を見に行きました。恐る恐るダンボールの蓋を開けて中の様子を伺うと、大けがを負っているとは言え、比較的元気そうな子猫の姿が現れました。「大変だったなあ〜。オマエ、大丈夫か」と声をかけたところ、その言葉に答えるように「ニャア〜」と一鳴きしました。

さて、私と子猫の間に凶らずもコミュニケーションが成立しました。もう見捨てるわけにはいきません。その日は文化祭当日であったので、暫くはダンボールの中で養生してもらい、文化祭終了後、新潟市にある「山二つ動物病院」に連れて行くことにしました。

金鞍院長先生の診断では、車のタイヤに踏まれたために左うしろ足が完全に麻痺しており、横隔膜にも一部損傷の疑いがあるというお話でした。やはり命に関わる大けがだったので。

11月1日に左うしろ足切断という大手術を行い、他の部位については暫く様子を見てから対応するということになりました。

このことは、すでに全校生徒にお話しし、併せて飼い主に関する情報提供をお願いしました。もし飼い主が現れなければ、今後、我が家の家族の一員として暮らすこととなります。名前は人と人との結びつきによって自らの命を救った子猫ということで「おむすび」と名付けましょう。

人と人との結びつきが生きて働く力になるとき、そこには何か善いことが起こったり、災いも転じて福となるような可能性が秘められているような気がします。

薬物乱用防止教室 講師：佐々木綾子先生（村上市保健所長） 11月11日

村上市保健所長の佐々木綾子先生をゲストティーチャーにお招きし、3年生を対象に「薬物乱用防止教室」が行われました。人体に有害な薬物の所持と摂取によって犯罪者となるだけでなく、自らの健康を著しく損い、さらに社会全体に大変な悪影響をあたえてしまうという薬物乱用の恐ろしさを知ることができました。

「薬物乱用は人と社会をダメにします」私たちはこの言葉を肝に銘じておかなければなりません。

また、コカインやマリファナ等の麻薬だけが危険なのではありません。佐々木先生はタバコや酒の害についても医学的な見地から詳しく説明してくださいました。

- ・タバコは最も身近な薬物です。
- ・タバコを吸う人はがんになりやすい。
- ・タバコは簡単に手に入る「ふけぐすり」
- ・イッキ飲みで人は死んでしまいます。
- ・アルコール依存症は薬物中毒です。

佐々木先生をお迎えしたのは、先回の「性に関する指導」に引き続き、今回で2回目になります。専門家の方々のお話を聞くことによって、私たちは問題の重要性と緊急性を認識し、今後どのようにしていかなければならないのか、という確かな方向性を見いだすことができます。

○ 薬物乱用が身体に与える影響として・・・

- 1 一度にたくさん使うと命を失う
- 2 肝臓や腎臓の病気になる
- 3 物がゆがんで見える
- 4 実際にはない物が見える
- 5 追いかけてられていると、命をねらわれていると思ってしまう
- 6 思考力や記憶力が低下する
- 7 イライラして落ち着きがなくなる

薬物乱用は人と社会を  
ダメにします

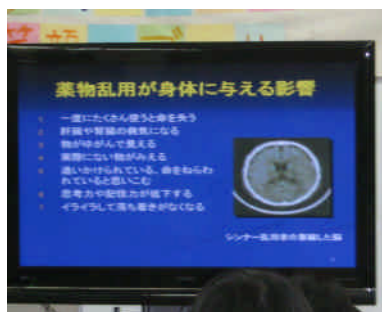
○ 薬物への誘惑に使われる言葉として・・・

- 1 「みんなやってるよ」
- 2 「簡単にやせられるよ」
- 3 「疲れがとれて元気がでるんだ」
- 4 「勉強に集中できるよ」
- 5 「いい気持ちになるんだって」
- 6 「おまえ、こわいの」

薬物への誘惑の言葉に注意

一人一人の生徒が、今後の人生において自分自身を守り、また、これ以上、社会全体に悪がはびこらないようにするための術を身に付けていくことが肝要です。自分自身を大切にできる心が、他者を大切にできる心へと繋がっていきます。すべての生徒には自分自身を大切にすることはどういうことなのか、また他者を大切にすることはどういうことなのか、をこの機会に真剣に考えてもらいたいと思います。

佐々木綾子先生には、お忙しい中、神納中学校までお越し頂き、誠にありがとうございました。今後とも当校を見守ってくださいますようお願い申し上げます。



(文責：村上市立神納中学校長 浪花 健一)

深めよう **絆** 県民運動 スタート

ストップ・ザ・いじめ  
～やめよういじめ 許さないじめ～